



日米の架け橋「桜」

北陸銀行 国際部
ニューヨーク駐在員事務所
内間 洋子

1. はじめに

日本では毎年春が近づくと桜の開花を楽しみにしている方はたくさんいらっしゃると思います。今年の桜はいかがでしたでしょうか。

アメリカでも毎年3月半ばになると、ワシントンD.C. のポトマック河畔の桜並木から開花のニュースが流れてきます。ワシントンD.C. の緯度は日本の仙台市と同じくらいなので、当地の開花の知らせを聞くと、青森市と同緯度に位置するニューヨーク市でも市民が春の訪れを感じ始めます。近郊には、早咲きの彼岸桜、枝垂れ桜、ソメイヨシノ、御亀桜、ヤマザクラ、そして遅咲きの八重桜・カンザン等、何十種類もの桜が植樹されており、2ヶ月近くに渡って楽しむことができます。

2. アメリカに渡った桜

ワシントンD.C. の桜並木は、1912年に当時の東京市から日米友好のシンボルとして3,000本のヤマザクラが送られたのが始まりです。同年、ニューヨークにも2,000本の桜の木が送られ、現在セントラルパークの一部となっている『桜パーク』と呼ばれる場所や貯水池周辺に植えられました。毎年5月に開催されるジャパNDERでは、今でも新たな桜の植樹が継続されています。

この大量の桜の輸送には、富山県高岡市出身の科学者・実業家の高峰譲吉(1854-1922)が深く関わっています。高峰は1890年に渡米し、タカジアスターゼ(消化酵素)やアドレナリンの発見と製薬化により巨万の富を築いた人物です。1909年、タフト大統領夫人とエリザ R. シドモア(明治の日本を旅した紀行家)が、ポトマック河畔に桜の植樹を計画していることを知ると、彼は個人的に桜の苗木の寄付を申し出ました。それを聞いた在ニューヨーク総領事は、日米親善の架け橋として東京市の名前で寄贈することを提案し、実現へ向けて動き出しました。しかし、ワシントンD.C. に到着した桜は病害虫に侵されていたため焼却処分となってしまいます。さらに、同年ニューヨークで開かれたイベントで高峰を含むニューヨークの日本人コミュニティが桜を寄贈する予定でしたが、輸送船が航行中に行方不明になるという事件が起きてしまいます。幾度の失敗の末、1912年、両地に向けて合計5,000本の苗木の輸送がついに成功しました。以降、全米に桜が植樹され、アメリカ人が桜をこよなく愛するようになるきっかけとなりました。

3. ニューヨークのお花見スポット

(1) セントラルパーク

ニューヨークのセントラルパーク内にはいくつもの桜の名所があり、特に貯水池周辺のカンザンの並木は見事です。2.5kmに渡って桜を見ながらウォーキングやジョギングが楽しめるコースがあります。また、同時期に開花する白とピンク色が美しい木蓮やクラブアップルが、桜と一斉に咲き乱れる様は絶景で、シートを広げてお花見をする人々で賑わいます。



【セントラルパーク内、貯水池周辺の桜並木】(事務所撮影)

(2) ブルックリン植物園

マンハッタン島の東の対岸にあるブルックリン植物園には、1914年に造られた回遊式日本庭園があり、水面に映る見事な枝垂れ桜と朱色の鳥居、灯笼、太鼓橋、茶屋など、本格的な日本情緒を味わうことができます。園内には、30種類200本の桜がありますが、そのうちの70本余のカンザンは、広大な緑の草地に整然と植えられています。毎年4月下旬に開催される桜祭りでは、日本酒や日本食の販売、茶の湯、生け花、和楽器演奏、折り紙教室、盆栽展示などが行われ、2日間で6万人以上が訪れます。



【ブルックリン植物園内、日本庭園の桜】(事務所撮影)

4. おわりに

4月に訪米した岸田首相は晩餐会の席で、今夏に予定されているポトマック河畔の補強工事により伐採される桜の古木の代替えとして、日本から新しい苗木を送ることをバイデン大統領に約束し、桜のような末永い日米の絆を確信すると述べました。

最初の桜輸送計画から115年が経ち、大戦の悲劇を乗り越えた美しい桜が、全米各地で友好のシンボルとして大切に守り受け継がれています。高峰もこの風景を眺めて喜んでいることでしょう。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp